



日本学術会議シンポジウム

地球環境の変動

科学の目で見るその面白さ

日時：3月21日(金) 10:00 - 17:00

場所：日本学術会議講堂

地下鉄千代田線「乃木坂」下車
5番出口より左へ徒歩1分

事前申込不要
参加費無料

- 生命を育む環境をもつ惑星 - ハビタブルプラネット (井田 茂 ◇ 東工大・地球惑星科学専攻)
- 地球環境の歴史を紐解く - 変動を支配するものはなにか (丸山 茂徳 ◇ 東工大・地球惑星科学専攻)
- 10万年ごとに訪れる氷河期 (阿部 彩子 ◇ 東京大・気候システム研究センター)
- 氷床の崩壊で激変した気候 (横山 祐典 ◇ 東京大・地球惑星科学専攻)
- 都市の気候変化は地球規模の気候変動を起こすか (三上 岳彦 ◇ 首都大・地理環境科学専攻)
- 地球環境危機の時代の土地利用を考える (氷見山 幸夫 ◇ 北海道教育大・生涯学習教育研究センター)
- 地球環境の変動が海の環境・生態系にもたらすもの - 北太平洋と北大西洋のむすびつき (原田 尚美 ◇ 海洋研究開発機構)
- 気候の将来予測はどのくらい正しいのか? (木本 昌秀 ◇ 東京大・気候システム研究センター)

主催◇日本学術会議 地球惑星科学委員会

後援◇日本地球惑星科学連合

コンビナー◇岡部 篤行・平 朝彦・中島 映至・永原 裕子

お問い合わせ先◇東京大学・地球惑星科学専攻・永原 裕子 (hiroko@eps.s.u-tokyo.ac.jp)

シンポジウム「地球環境の変動 - 科学の目で見るとその面白さ」
の開催について

1. 主 催 日本学術会議地球惑星科学委員会
2. 後 援 日本地球惑星科学連合
3. 日 時 平成20年3月21日（金）10:00～17:00
4. 場 所 日本学術会議講堂（港区六本木7-22-34）

5. 次 第
開催趣旨

地球惑星科学は、地球の環境変動について、過去に起きた多様な変動、その原因、現在社会的に関心をもたれている変動の仕組み、人間社会の対応、その将来などについてきわめて多様な研究を進めている。これを高校生、一般の人に広く紹介し、自然環境の変動のしくみのおもしろさの理解を進める。

開会あいさつ：平 朝彦（海洋研究開発機構、日本学術会議会員）

講 演（10:10～17:00）

- 1) 生命を育む環境をもつ惑星 - ハビタブルプラネット
井田 茂（東京工業大学教授）
- 2) 地球環境の歴史を紐解く - 変動を支配するものはなにか
丸山 茂徳（東京工業大学教授）
- 3) 10万年ごとに訪れる氷河期
阿部 彩子（東京大学準教授）
- 4) 氷床の崩壊で激変した気候
横山 祐典（東京大学準教授）
- 5) 都市の気候変化は地球規模の気候変動を起こすか
三上 岳彦（首都大学教授、日本学術会議連携会員）
- 6) 地球環境危機の時代の土地利用を考える
氷見山 幸夫（北海道教育大教授、日本学術会議連携会員）
- 7) 地球環境の変動が海の環境・生態系にもたらすもの - 北太平洋と北大西洋のむすびつき
原田 尚美（海洋研究開発機構）
- 8) 気候の将来予測はどのくらい正しいのか？
木本 昌秀（東京大学教授）

参加申し込み方法

当日直接会場にお越し下さい。（開場 9:30）

定員（250名）となり次第、締め切りとさせていただきます。